

を悩まして居ります、又一方事業家は需要の激減、製品の値下、
労働争議の頻發に依つて疲弊其極に達し事業の根底を覆されんと
して居ます、現に昨年以來工場を閉鎖したものは全國に於て其數
幾百に及ぶが枚舉に遑もありません、實に吾邦の産業は未曾有の
危機に直面していることは何人も首肯する所であります。

此の秋に當り弊社及従業員が相譲ることなくしてこの上争を繼續
致しますことは徒に世間を騒がするのみならず遂には共倒れとな
つて多數の失業者を出し本人は申すに及ばず其家族に迄累を及ぼ
すことゝなつては誠に遺憾の極であります又直接監督の任に當ら
れる官憲の御厚意に對しても誠に心苦しい次第であります。

殊に御町内の皆様に對しこれ以上の御迷惑を掛けることは何とし
ても弊社の忍び得ない所であります。

弊社は此の争議のために有形無形に莫大の犠牲を忍び當事業不振
の現下の状態に於て多數の復職を認容致しましたことは前述の事
情を深く考慮致しまして一切の情實を排し唯社會の現況に處する
一片の赤誠に外ならぬのであります、どうか皆様に於かれまして
も弊社の微意を諒とせられ公正なる御批判を賜ると共に今後益々
深甚なる御協力を希ふ次第で御座います。

茲に長期に亘る争議中の御迷惑を繰り返し御詫び申上ぐると共に
皆様の寄せられた多大の御芳情に對し厚く御禮を申上げて解決の
御挨拶と致します。

昭和五年九月廿五日

東京鋼板工業株式會社

御町内各位